

本庄出張所だより

「MKFrivierニュース」創刊1周年！！

河川の身近な話題を地元住民の皆さんに提供するための本庄出張所だより、「MKFrivierニュース」が今月号で1周年を迎えました。創刊号から第12号までの表面の記事は右表の通りです。

記事の内容につきましては、出張所からのお願いやお知らせが多く、今後改善していきたいと考えていますので、ご愛読の程よろしくお願い致します。

また、地域の話等がありましたら是非出張所へご一報ください。

日高清一仮屋原区長 からのメッセージ

＝創刊号～第12号までの記事内容＝

- 創刊号: 本庄出張所職員の紹介
- 第2号: 河川に関するアンケート調査のお願い
- 第3号: 11月より本格的に河川工事が始まります
- 第4号: 河川に関するアンケート調査結果
- 第5号: 新年のご挨拶
- 第6号: 川にゴミを捨てないようにしましょう
- 第7号: 災害危険箇所点検を実施
- 第8号: 新旧技術係長の紹介
- 第9号: 水害知っとかシリーズNO. 1
- 第10号: 水害知っとかシリーズNO. 2
- 第11号: 仮屋原激特事業～7月末に完成
- 第12号: 台風や集中豪雨のときは

「MKFrivierニュース」創刊1周年おめでとうございます。

仮屋原地区では8月5日に激特事業完成現場見学会を開催して頂きました。日時の都合で出席者は少ない状況でしたが、地区住民は一同にして感謝致しております。このような大掛かりな工事は国の負担なしではできません。国土交通省、県土木、役場、その他関係者の方々に区民一同厚く御礼申し上げます。

また、本庄出張所は国の中枢部と地区住民を繋いでくれる大切な機関です。数少ない職員で大変な事だと思いますが、中央の目の届きにくいこの地区の状況をよく把握して頂き、今後とも報告・陳情方よろしくお願い致します。

最後になりますが、地区住民は洪水の状況を危険度レベルでは判断できません。見た目・聞いた事ではしか判断できません。そうした点では地区の消防団が活躍してくれていますが、今後とも役場と緊密に連絡を取って頂いて、住民が迅速に対応できる情報の伝達をお願い致しまして、お祝いの言葉と致します。

＝ 地域の話題コーナー ＝

本庄出張所で実習生(大学生)が2週間の職場体験！！

8月18日～29日まで、インターンシップ実習生として広島大学3年篠原哲也君が本庄出張所に来ました。篠原君は国富町出身で大学では土木の勉強をされており、今回は職場体験として河川パトロール、工事現場見学、災害工事の追跡調査等を実施し、その内容をレポートにまとめて大学に報告するとのことでした。

2週間という短い期間でしたが、篠原君の温厚でまじめな性格を垣間見ることができました。大学生活もあと1年半ですが、勉学に勤しみ素晴らしい土木技術者になれることを出張所職員一同切望しています。

(実習の感想)

今回の実習ではたくさんの現場を見させて頂きました。

そこで感じたのは、自然に人工の物を創るという難しさと、人と人とのつながりの大切さです。この体験を今後に役立てたいと思います。

皆様、本当にお世話になりました。

レポート作成に熱中する篠原君



河川巡視で見つけた四季のアルバム

(8/22アイガモ)



(8/22ミヤマアカネトンボ)



(8/29ハグロトンボ)



河川に関する問い合わせ先

国土交通省宮崎河川国道事務所本庄出張所

〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄5056-7

電話 0985-75-2179(土日・祝祭日及び夜間は宮崎河川国道事務所に転送されます)

事務所ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>